

第 61 回 全国中学校水泳競技大会・競泳競技 監督者会議資料

令和 3 年 8 月 17 日 (火) 9:00～
千葉国際水泳場観覧席

1 大会参加にあたって

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関する国ならびに都道府県の措置内容を確認すること
- (2) 大会は「無観客」とし、指定された AD カードを携行していない者の入館は一切認めない。
- (3) AD カードは①選手 ②監督（当該校の教員または校長が認めた指導者）③引率保護者 ④コーチ ⑤大会役員に対して発行する。紛失した場合の再発行はできない。
- (4) AD カードの種類に応じて入場できるエリアを制限する。係員の指示に従うこと。
- (5) 入館前 2 週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当がないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 臭覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (6) 引率者は入館者全員の体調管理を行うとともに「体調記録表（様式 1）」を確認する。必ず責任者が選手ならびに来場者の健康状態を確認し、全員の体温・体調等を記載した「学校同行者体調記録表（様式 2）」を毎日提出する。提出できない場合は入館できない。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。回収した「学校同行者体調記録表」は返却しない。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めないので、出発前に確認すること。
- (8) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、会話などに留意すること。
- (9) 大きな声を出しての声援やマスクを着用しないままでの会話は控えること。
- (10) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ チームのシート・毛布、共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ 練習時のパドル・コード類
- (11) 本連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」並びに（公財）日本中学校体育連盟が定めた「全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」を遵守すること。またあわせて「千葉国際水泳場でのイベント開催における新型コロナウイルス感染拡大防止措置」に示された指示に従うこと。
- (12) 退館後 2 週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2021 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 全ての個人競技は、予選・決勝を行う。全てのリレー競技をタイム決勝とする。競技は、予選は 10 レーン、決勝は 8 レーンで行う。リレー競技は 1 レーンおきに 5 レーンを使用して行う。
- (3) 進行は、公表されたタイムスケジュール通りに行う。
- (4) 決勝は、予選の結果上位 8 名(チーム)が出場できる。ただし棄権者(チーム)が出たときは次点上位より順次出場権を与える。
- (5) 決勝進出は、同記録で予定人員を超えた場合、スイムオフを行う。ただし、女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形については、抽選で優先順位を決定する。
- (6) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は 2 名とする。
- (7) 招集は競技開始 10 分前から行う。本人確認のため招集所には、A D カードを持参すること。また、招集所で水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の棄権届出用紙に記入し、当日予選競技開始 20 分前(1 日目は 12:10、2 日目～3 日目は 8:55)までに 1 階リゾリューションデスクに届け出ること。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内にリゾリューションデスクに届け出ること。
- (9) 800m・1500m 自由形における周回通知は、ラップカード(周回板)を使用しコールは行わない。
- (10) 公式計時 S E I K O によるバックアップは半自動計時装置を使用する。
- (11) 背泳ぎのスタートの際にバックストロークレッジが使用できる。使用しない場合は、折返監察員に申し出ること。レッジの位置調整は各自で行うこと。
- (12) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。リレー競技の第 1 泳者から第 3 泳者についても、ゴールタッチ後は折返監察員の指示によりプール横から退水すること。
- (13) 決勝競技終了後、全ての優勝者に対してフラッシュインタビューを実施する。決勝の優勝者(チーム)は自レーンから退水し、ただちにフラッシュインタビューを受けること。リレー競技のフラッシュインタビューは、別途時間を指定して行う。
- (14) 予選・決勝ともに選手紹介を行う。予選は入場後に各レーンで通告する。決勝・タイム決勝は入場ゲート前で紹介(学校名・氏名の紹介)を受けてから入場すること。
- (15) リレーオーダーは次の締切時間までにリゾリューションデスクに提出すること。

種 目	タイム決勝
フリーリレー	17 日(火) 13:00
メドレーリレー	18 日(水) 8:00

- (16) 本競技会は、上訴審判団を設置する。

3. 表彰について

- (1) 1～3 位にメダルならびに賞状を 4～8 位に賞状を授与する。
- (2) 表彰式は行わない。ただし 1 位から 3 位の選手はフラッシュインタビュー終了後に記念撮影を行う。リレー競技の記念撮影は、別途・時間と場所を指定して行う。
- (3) 記録証は選手受付時に資料とともに配付する。印刷は各自でホームページよりダウンロードすること。
(<https://swim.zenchuu.jp/>) 賞状については大会期間中に受け取りがない場合は希望がないものと判断して破棄する。

4. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選競技		決勝(タイム決勝)競技		閉門時間 (予定)
		開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	
前 日・8 月 16 日(月)	9:00	公式練習日				18:00
1 日目・8 月 17 日(火)	7:15	12:30	14:40	15:00	16:25	18:00
2 日目・8 月 18 日(水)	7:15	9:15	10:40	11:30	15:25	18:00
3 日目・8 月 19 日(木)	7:15	9:15	11:10	12:30	14:10	17:30

5. プールの使用について

(1) メインプール

- ① 水深は 2.0m、水温は 27.5 度に設定する。
- ② 練習は予選競技開始 15 分前までとし、1 日目(8 月 17 日)は 10:45 まで、2・3 日目(8 月 18 日・19 日)は 9:00 までとする。また、競技終了後はメイン・サブプールともに 30 分後までとする。
- ③ 昼休みの練習は、決勝競技開始 15 分前までとし、決勝競技出場者のみとする。(2・3 日のみ)
- ④ 8 レーンはペースレーンとする。(クロールのスイムのみで使用可)
- ⑤ 0・9 レーンは、ダッシュレーンとする。ただし、0 レーンは、折返し側からスタート、9 レーンはスタート側からスタートとし、一方通行とする。
- ⑥ パドル、コード類の使用を禁止する。(サブプール等も同様)
- ⑦ 公式スタート練習は、1 日目(8 月 17 日) 10:00~10:45、2・3 日目(8 月 18 日・19 日)は 8:15~9:00 の間に行う。

(2) サブプール

- ① 水深は 1.35m。
- ② 1 レーンは、ダッシュレーンとする。採暖室側からの一方通行とする。
- ③ 2・3・4・5 レーンを男子用 6・7・8 レーンを女子用とする。
- ④ ペースレーンは設けない。

(3) 新型コロナウイルス感染防止のため、プールの使用を以下の通り制限する。

	メインプール	サブプール
17 日(火)	9:00~10:45 17 日に出場する選手	9:00~12:00 17 日に出場する選手
		12:00~競技終了 30 分後
	競技終了後 30 分間 18 日に出場する選手	17 日, 18 日に出場する選手
18 日(水)	7:15~9:00 18 日に出場する選手	7:15~12:00 18 日に出場する選手
	決勝競技前 18 日の決勝競技に出場する選手	12:00~競技終了 30 分後
	競技終了後 30 分間 19 日に出場する選手	18 日, 19 日に出場する選手
19 日(木)	7:15~9:00 19 日に出場する選手	7:15~15:00 19 日に出場する選手
	決勝競技前 19 日の決勝競技に出場する選手	

(4) 決勝が、予選の翌日に行われる種目については、決勝進出者(補欠を含む)は、決勝日の 7:15~ プールを使用できる。決勝進出者は、予選競技終了後、リゾリューションデスクで AD カードに翌日入場できるようチェックをつけてもらうものとする。

6. 水泳場の使用について

- (1) 会場には指定された AD カードを携行した者が入場できる。一般観覧者の入場はできない。
- (2) 選手・監督・コーチの入退場は、1 階正面玄関からとする。2 階選手観覧席、控え場所に行く場合は、入口脇の階段より入ること。
- (3) 選手・監督・コーチの控え場所は、2 階常設観覧席をブロックごとに割り振る。毎日ローテーションを行う。2 階ホールでの場所取りはできない。サブプールの観覧席はフリースペースとする。コーチボックスは、観覧席に設ける。
- (4) 感染予防のため全ての控え場所で人と人の距離をとること。観覧席は 1 席おきに使用とする。
- (5) 食事はスタンドの割り当てられたブロックの上から 4 段を使用し、黙食を徹底すること
- (6) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (7) 1 階メインプール周辺にはウォーミングアップ時間に限り監督・コーチの入場を認める。ただし競技開始後アリーナ内は、選手、競技役員、大会役員、許可を得た報道関係者以外は立ち入ることができない。引率の保護者は、観覧席以外は入れない。

- (8) ADカードは、水泳場内にいるときは常時首からさげていること。
また、入退場に際しては、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
- (9) 更衣室のロッカーは、使用禁止とする。更衣室内に荷物を置いたままにすることができない。更衣室を控え場所として使用できない。更衣室内は飲食禁止とする。
※置き荷物は忘れ物として扱い2階総合受付にて管理する。また、全日程終了後、残った忘れ物は処分する。
- (10) 競技終了後に荷物は毎日持ち帰ること。ただし毛布やシートなど持ち帰りに不便な大きな荷物は、17日・18日に限り、競技終了後、指定された場所に都道府県ごとまとめて置いておくことができる。
翌朝は開場後、速やかに移動すること。（なお、管理の責任は負うことはできない。）

7. 注意事項、その他

- (1) プログラムの訂正等については、「プログラム訂正用紙」に必要事項を記入の上、リゾリューションデスクに提出すること。
- (2) 水着および身体へのテーピングは禁止する。
- (3) 所属中学校以外のチーム名が付いた水着・キャップの着用を禁止する。
- (4) 公式掲示板を、2階ホールに設ける。
- (5) 盗難防止のための貴重品の保管については、引率者および選手の責任において管理すること。
- (6) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp>)
日本水泳連盟公式モバイルサイト「スイムレコードモバイル」 (<https://sp.j-swim.jp/>)
- (7) 撮影許可証の用意はしない。カメラ・ビデオによる撮影はマナーを守ること。撮影した画像・映像は、個人情報保護の観点からネット上にあげることは控えること。
- (8) 全日程の競技の様子をYouTubeにてLIVE配信する。配信URLは大会HPに掲載する。